

令和7年度入学試験問題(後期日程)

総合問題 <都市経営学部>

(120分)

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. この問題冊子は全部で24ページあります。また、問題冊子とは別に解答用紙4枚(その1～その4)、下書き用紙(白紙)2枚が配付されます。
3. 解答開始後、すべての解答用紙指定欄に座席番号、受験番号、名前を記入しなさい。
4. 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
5. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰りなさい。

IV 日本では、1995年をピークに生産年齢人口(15～64歳人口)が減少に転じ、総人口も2008年をピークに減少が始まった。2010年代前半以降、女性や高齢者の労働参加が拡大している。また、現在の国勢調査等で用いられる産業分類の数は、大分類としては20種類であるが、社会の変化に伴い産業別就業数も経年的に変化している。さらに産業によって男女の就業者数の割合も異なっている。

図1は、男女別年齢構成別の就業者数の推移を示したものである。図2、図3および表1は、20の産業分類のうち、7つの産業分類の就業動向を示したものである。図2は産業分類ごとの女性就業者数の推移を、図3は産業分類ごとの男性就業者の割合の推移を、表1は産業分類ごとの男性就業者および女性就業者の年齢構成割合の推移を示したものである。これら日本の就業者数に関する図表をみて、後の問1～問4に答えなさい。

(注) 上記の文章の一部は、内閣府「2023年度日本経済レポート」、2024年(<https://www5.cao.go.jp/keizai3/2023/0213nk/index.html>)を参考に作成。

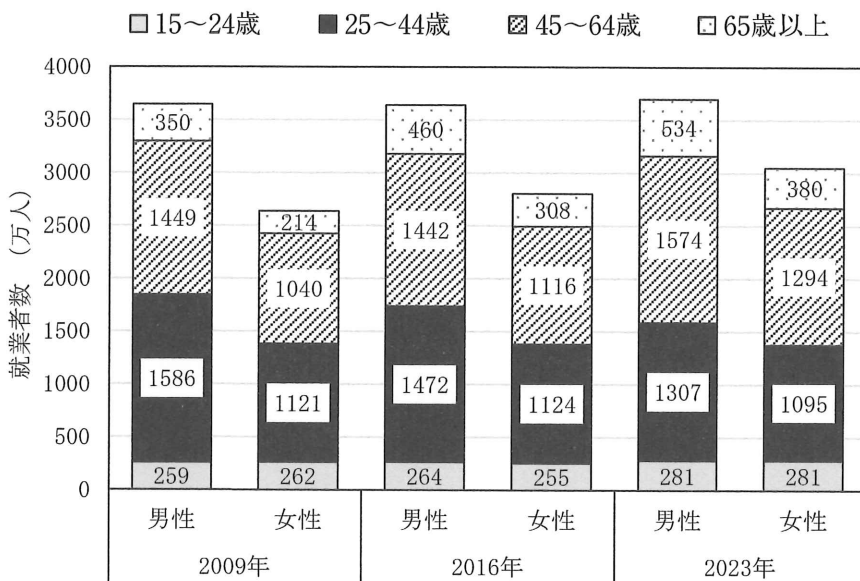


図1 男女別年齢構成別の就業者数の推移

出典：総務省統計局「労働力調査年報」をもとに作成

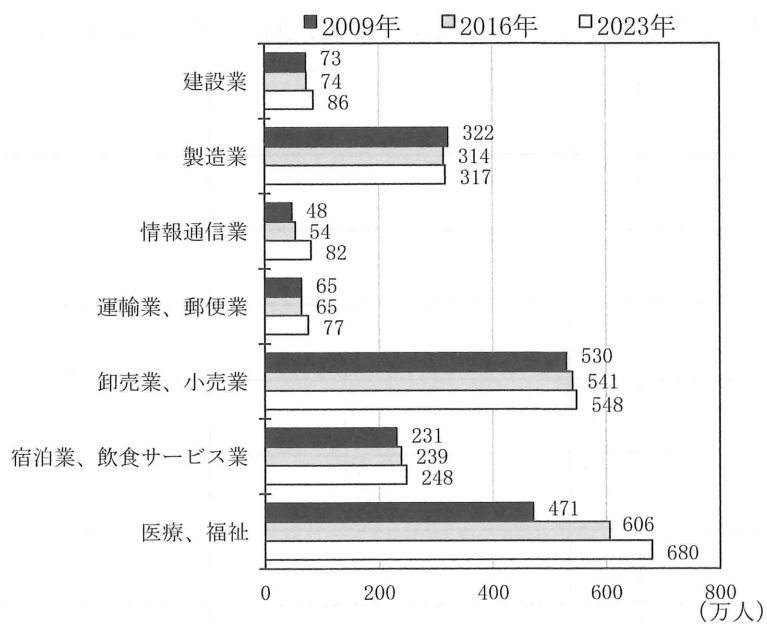


図2 産業分類ごとの女性就業者数の推移

出典：図1に同じ

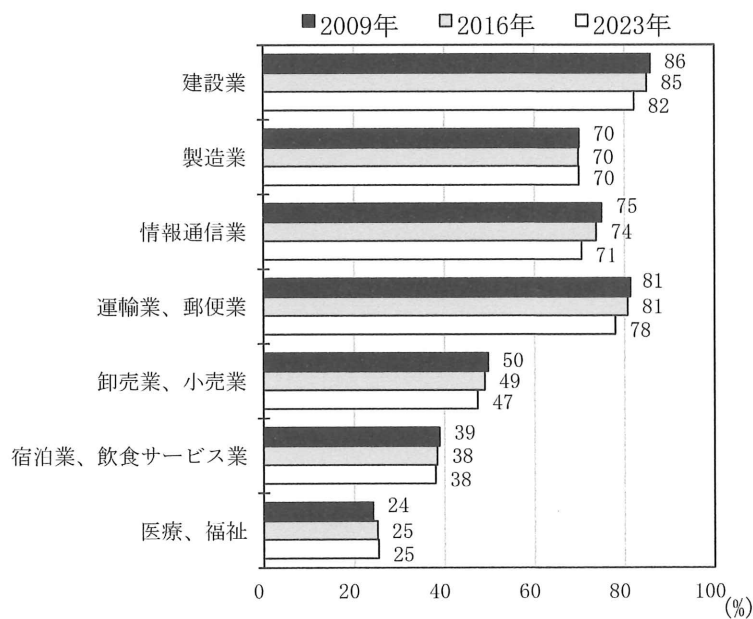


図3 産業分類ごとの男性就業者の割合の推移

出典：図1に同じ

表 1 産業分類ごとの男性就業者および女性就業者の年齢構成割合の推移

産業分類	年	男性就業者の年齢構成割合 (%)				女性就業者の年齢構成割合 (%)			
		15～24歳	25～44歳	45～64歳	65歳以上	15～24歳	25～44歳	45～64歳	65歳以上
建設業	2009	5	42	44	8	4	42	44	10
	2016	6	38	42	14	4	38	43	15
	2023	5	30	47	17	5	34	47	15
製造業	2009	7	48	39	6	7	42	43	7
	2016	7	45	41	8	7	41	41	10
	2023	7	39	46	8	7	37	46	10
情報通信業	2009	7	63	28	2	10	71	19	0
	2016	5	57	37	2	9	63	26	2
	2023	6	52	40	3	10	59	29	2
運輸業、 郵便業	2009	4	42	46	7	11	45	42	3
	2016	4	38	47	11	6	43	45	6
	2023	4	31	53	13	6	36	49	8
卸売業、 小売業	2009	10	44	37	10	12	41	40	8
	2016	10	41	37	12	11	39	40	10
	2023	11	34	41	13	11	34	43	12
宿泊業、 飲食サービス業	2009	22	39	31	8	18	33	39	10
	2016	26	34	28	12	20	32	33	15
	2023	31	26	30	13	26	26	33	15
医療、福祉	2009	7	47	36	10	9	48	40	3
	2016	6	49	33	13	8	44	41	7
	2023	6	43	36	16	6	38	45	10

(注) 小数第1位を四捨五入しているため、年齢構成割合の合計が100%とならない場合もある。

出典：図1に同じ

問 1 次の(ア)~(エ)の内容が、図 1 から読み取れる内容として、適切ならば○を、不適切ならば×を、それぞれ答えなさい。

- (ア) 2009 年と 2016 年を比較すると男女ともに就業者数は増加している。
- (イ) 2009 年から 2016 年にかけて、65 歳以上の就業者数の増加率は男性よりも女性の方が大きい。
- (ウ) 2023 年において、就業者(男女計)に占める 65 歳以上の割合は 10 % 以下である。
- (エ) 2009 年と比較すると、2016 年と 2023 年の両年で就業者(男女計)に占める 25 ~ 44 歳の女性の割合は減少している。

問 2 図 2 に示された 7 つの産業分類のうち、2023 年の就業者数(男女計)がもっとも多い産業分類を、図 2 と図 3 を参考にして 1 つ選び答えなさい。

問 3 次の文章中の ① と ② に当てはまる語句を答えなさい。ただし、① は図 2 に示された 7 つの産業分類から 1 つ選び、② は 5 字以内の語句で、それぞれ答えなさい。

図 2 と図 3 より 2009 年から 2023 年にかけて就業者数(男女計)がもっとも増加した産業分類は ① であることがわかる。就業者数が増加している主な要因は ② の進展による ① のサービス利用者の増加等とされており、今後もこの産業での人材確保が課題となっている。

問 4 以下の図 4 は、図 2 に示された 7 つの産業分類における就業者(男女計)の年齢構成割合の推移を示したものである。表 1 と図 3 をもとに、それぞれの産業分類に対応した図として適切なものを、(ア)～(キ)の中から 1 つずつ選び、記号で答えなさい。

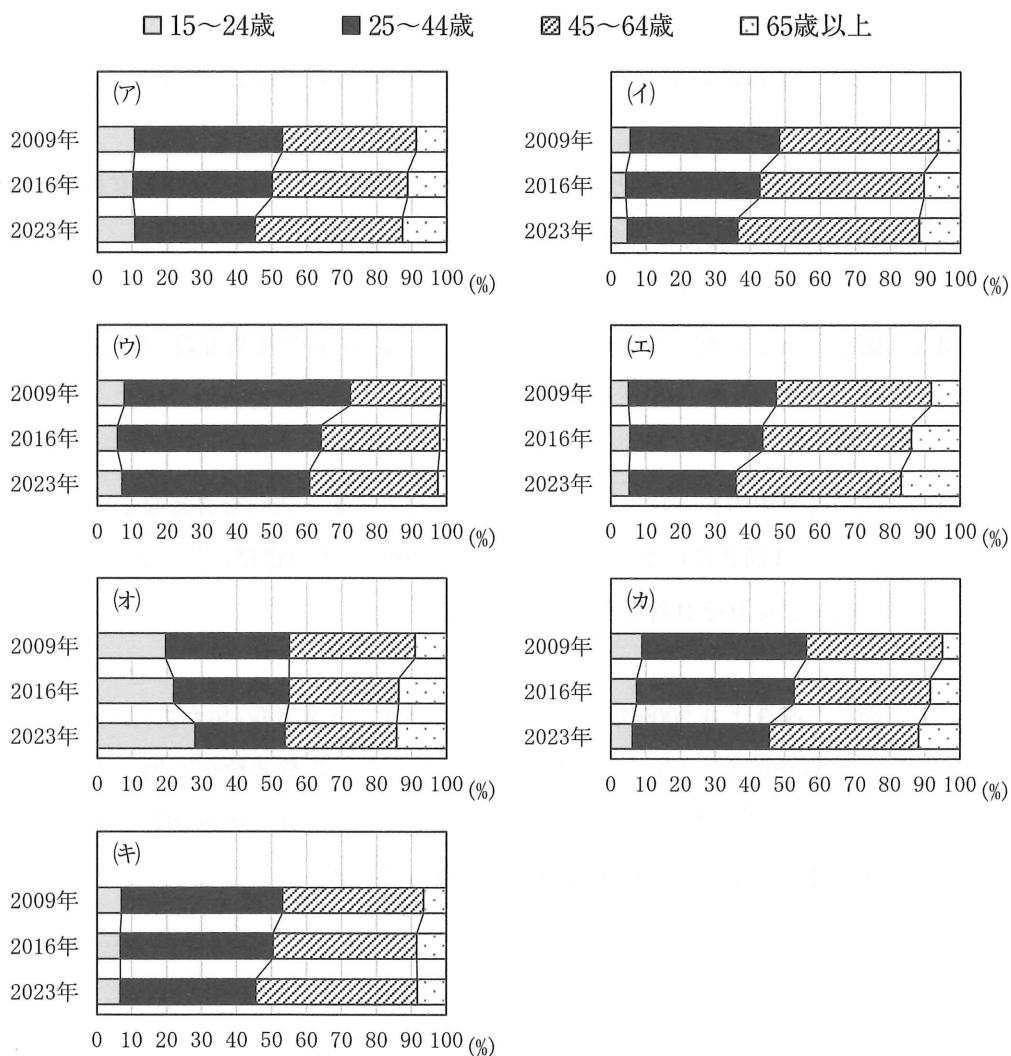


図 4 産業分類ごとの就業者(男女計)の年齢構成割合の推移

出典：図 1 に同じ

(問題は以上です。次ページ以降は白紙です。)